

○本題材について

題材名	実物よりリアルな絵 ～自己の内面にあるそれぞれのリアリティ～
芸術科	美術1
内容のまとめ	「絵画・彫刻「A表現」(1)及び「作品や美術文化などの鑑賞「B鑑賞」
概要	美術作品の鑑賞を通して作家や美術表現について理解を深め、感じたことや考えたことなどから主題を生成し、構想を練る。自分にとっての「リアリティ」とは何かを考え、工夫し創造的に表す。お互いの作品を鑑賞し合うことで造形的な良さや美しさを感じ取り、自己と他者の相違点や共通点に気づき、見方や感じ方を深める。

○評価基準

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
<p>知識：色や形の性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>技能：意図に応じて材料や用具の特性を活かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p>	<p>発想：自己を見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>鑑賞：造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態度：主体的に自己を見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基に、表現活動に取り組もうとしている。</p>

○単元計画

	時数	学習内容	学習活動
鑑賞	1	参考作品の鑑賞	・作家が作品に込めた意図や、表現方法の工夫などについて理解する。
表現	2	「リアル」、「リアリティ」の違いについての解説	・ワークシートを使いながら「リアリティ」について思考し、理解する。
	6	風景画の制作	・自分なりの「リアリティ」を盛り込んだ作品を制作する。
鑑賞	1	作品鑑賞、振り返り	・「リアルな風景画」、「リアリティのある風景画」、二種類の風景画について比較鑑賞する。本題材を振り返り、気づいたことや考えたことを学習ノートに記入する。
		合計 10時間	

10月18日公開授業②（10 / 10時間）

	時間	学習内容	学習活動	準備物等
導 入	5分	・本時の説明をする。	・本時の説明を聞く。	教師用タブレット モニター
展 開	25分	・鑑賞の時間のルールについて説明する。 ・リアルな絵画（アプリで作成したもの）とリアリティのある絵画を同時鑑賞し、感じたことや考えたことをメモさせる。	・鑑賞の時間のルールについて把握する。 ・リアルな絵画（アプリで作成したもの）とリアリティのある絵画を同時鑑賞し、感じたことや考えたことを記入する。	学習ノート
ま と め	15分	・本題材のまとめを記入させる。	・以前実施した鑑賞の授業も振り返りながら、自分の作品の中にどのようなリアリティを盛り込むことができたか記入する。	教師用タブレット 学習ノート
		合計 1時間		